

●自然体験⑬

スノーシューハイキング



概要

スノーシューをはいて、雪に覆われた森や野原を歩き、木々の冬芽、動物の足跡、鳥の姿や鳴き声など、多くの命を身近で感じることができます

人数

・何名でも

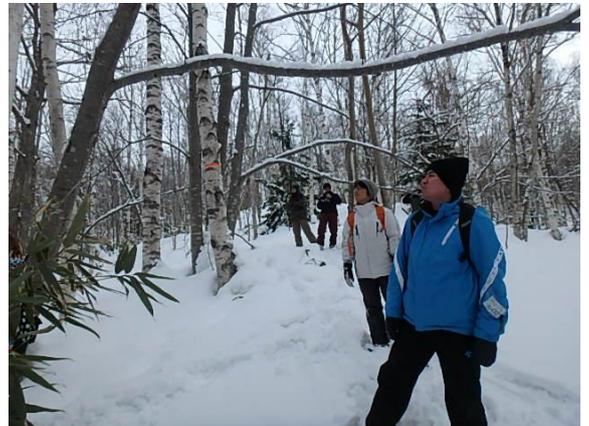
対象

・未就学児～

実施期間

・12月末～3月末

※雪不足による変動有



活動場所・所要時間（準備、片づけを含む）

・滝野の森エリア 1～2時間

・展望台エリア 2～4時間

※（別添）エリアマップ参照

※ 所要時間は概算のため、団体の人数、参加者の年齢や体力、計画の内容によって異なる

指導のねらい

- ・積雪時しか発見できない、冬ならではの魅力を体感する
- ・スノーシューを履くことで、雪上での歩きやすさを実感する

活動のながれおよび留意点

【事前学習】

- ①どのような活動にしたいか「目的」「内容」を共有する
- ②グループ編成を決める
- ③用具の使い方を調べておく

【当日】

- ①服装、持ち物の確認や健康チェックを行う
- ②事務室で無線機を借りる
- ③物品の貸出（山の家職員立ち合い）
- ④スノーシューの実施 ※（別紙1）参照
 - （1）集合：多目的ホール、ホワイエ等
 - （2）スノーシューの受取：乾燥室
 - （3）スノーシューの装着：くわの実広場、入り口前広場など
 - （4）出発
- ⑤物品の返却（山の家職員立ち合い）

※午後4時までに必ず返却をする

準備物品

【山の家で貸出可能なもの】

- ・スノーシュー

【団体で準備するもの】

- ・防水、防風性の強いウェア（重ね着をして、暑い場合は脱げるようにする）、帽子、耳当て、スパッツ、手袋、汗拭きタオル、換えの手袋

備考

令和4年1月17日更新

スノーシュー (道具の準備・片付け)

1. 道具の準備

始めに乾燥室に行きます。乾燥室の奥にあるスノーシューを持ってスタート場所へ移動します。歩くスキーの貸出しと重ならなければ(在庫があれば)、ストックの貸出しも可能です。その場合は、必ず山の家職員にご相談ください。



2. スノーシューの装着

①スノーシューの左右を確認



②バンド(前・後)を緩め、つま先を入れる



③バンドの両端を引いて締める



④後ろの締め具を引いて、かかとを固定する



※余ったバンドは両端の金具で止めたり結んだりして歩行の邪魔にならないようにしてください。

※スノーシューの装着は雪上で行います。靴の裏や締め具の雪を落としてから装着してください。

3. 道具の片付け

① ハイキング終了地点でスノーシューをはずし、付いている雪をきれいに取り除きます。

② 乾燥室へ行き、スノーシューを元の場所に戻します。

※破損や不具合があった場合には、速やかに山の家職員にお伝えください。

スノーシュー (滝野の森エリア)



森の交流館
 レンタレグッズの貸し出しや食事ができる休憩スペースがあります。滝野の森に来たらずばお立ち寄りください！

ツリーハウス
 迷路のような建物の中は歩くだけで楽しめます！写真の展示やラウンジなどのイベントを開催！

森の塔
 滝野の森のシンボルタワー。冬は昇りませんが存在感抜群！

森の教室
 寒くて晴れた日は水辺で「雪の花=フロストフラワー」が見られます！
 ※トイレはありますが味原所は利用できません。

❗ 森の中ではコレに注意

- ・上からの折れ枝、落雪
- ・トゲのある木 タランボなど

タランボ

スキーウェアなど
 帽子
 手袋
 替えが あるとよい
 スパッツも あると便利
 長靴が
 ブーツ

トイレ 授乳室 エレベーター ドリンク自動販売機

スノーシュー（展望台エリア）

ミドルコース看板
(ピンク色・出入口～F)

(例)



カラーテープエリア内または周辺で自由にご活動ください。

